

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：ペガサス夜間保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：栗田 奈美	定員（利用人数）： 20名
所在地：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-24-14	
TEL：045-476-0769	
ホームページ： http://yamayuri-kai.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2003年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 山百合会		
職員数	常勤職員： 8名	非常勤職員： 12名
専門職員	管理栄養士 1名	調理師 1名
施設・設備 の概要	(居室数) 保育室1室、厨房1室、職員休憩室1室、医務室1室、事務室1室、予備室、ホール	(設備等) ペガサス新横浜保育園が同じ園舎内にあります。地下に受水槽があります。

③理念・基本方針

保育理念

- ・子どもたちが信頼できる大人集団になるためにすべての人と手をつなぎの輪を広げます
- ・子どもの身体づくりの為によりよい食事のあり方を目指します
- ・子どもの五感を大切に、生きる力の土台をつくります

保育方針

- ・「子どもたちの笑顔と未来のために」を目標に「安心して自分が出せる心地よさ」を保障する保育を目指します。
- ・保育園で過ごす時間が長くなりがちなお子たちのために、保育園は昼間のおうち（生活の場）であると位置づけ、空間、仲間や時間の流れを大切に保育を工夫していきたいと考えています。
そのため、食事のあり方を大切に、保育内容と2本柱と掲げ、「子どもがその子らしく自信を持って生きていく力の土台を作る」ことを目指します。また、保育園が子育て中の全ての家族にとって地域の中で力強いサポーターであるために、地域の方々、保護者の皆さんの力をお借りしていきたいと考えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・平日（月曜日～金曜日）は午前8時30分から翌日の8時30分まで、土曜日と祭日の前日は午前8時30分～午前0時まで開園している24時間保育園です。保護者の勤務時間により開園時間内で保育をしていて、深夜帯の保育ニーズに応えられるようになっています。
- ・0歳児以外は異年齢保育で過ごし、家庭的な雰囲気の中で過ごせるようにしています。
- ・各年齢の人数が少ないので、一人ひとりの思いに寄り添い、成長をサポートしています。
- ・給食に野菜を多く取り入れていて、旬の食材や日本の伝統を食事で感じる事が出来るように工夫しています。
- ・深夜の時間も開園しているので、保護者と離れて過ごす間、寂しくならないように心掛けています。
- ・地域に向けて、一時保育を9時～22時実施するほか、22時～翌朝7時（平日）までの夜間一時保育を実施していて、非定型、緊急、リフレッシュの要件で受け入れています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年4月24日（契約日）～2020年1月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2016年度）

⑥総評

◆特に評価の高い点

・保育士に優しく見守られ、子ども達は家庭にいるかのように落ち着いて園生活を過ごしています

夜遅くまで長い時間を過ごす子どもが多いことから、保育士は家庭的な雰囲気を作り出すように心がけています。保育士は子どもに「なにしたい？」「どう思う？」「なぜ？」などと優しく問いかけて、子どもの気持ちに共感し、子どもが自分の思いを素直に言葉で表現できるようにしています。幼児が散歩に行きたくないと言った時には乳児と一緒に保育室で遊ぶなど、一人ひとりの子どものその日の状態や要望、発達に合わせて対応しています。子どもが不安そうにしている時には、膝に載せたり手を握ったりしてスキンシップを取り、子どもの心に寄り添っています。乳児、幼児はそれぞれ異年齢で過ごしていて、子どもたちは兄弟のように年上の子どもの真似をしたり、年下の子どもの面倒をみたりしています。子どもたちは家庭にいるかのように保育士に甘え、友だちと一緒に遊び込んでいて、園生活を落ち着いて過ごしています。

・打ち合わせや職員会議で話し合い、職員はよりよい保育の実現に向けて連携しています

園長、主任は保育の現場に入って職員の動きや業務の流れ、子どもの様子などを確認しています。必要に応じて声をかけて職員に確認し、職員が細かな気づきを発信できるような雰囲気作りをしています。週1回の打ち合わせ、月1回の職員会議には、管理栄養士も参加し、連携しています。気になることや新しい取り組みについては、その都度打ち合わせで相談して最善と思うことを取り入れ、試行期間を設けてから実行しています。24時間開園している園の特性を考慮し、職員会議はテーマによって時間帯を変え、該当する職員が出席できるようにしています。会議録は回覧し、必要に応じて個別に説明をしたり、質問を受けたりしています。このように密に話し合いを重ねることで、職員は目指す方向性を共有し、連携して保育にあたっています。

・保護者が安心して子育てをしながら働けるように支援しています

運営法人の「女性が安心して子どもを産み育てられ、仕事と育児が両立できるような社会をつくりたい」の理念の実現のため、24時間保育を実施していて、契約した保育時間内であれば保護者の勤務時間帯に合わせて登園時間も降園時間も自由です。園は保護者と信頼関係を築くためにコミュニケーションに力をいれていて、全園児連絡ノートを用いて密に情報交換するとともに、送迎時には口頭で子どもの様子を伝えています。職員は子どものできたことや頑張ったことなど、一日の中での良いエピソードを伝え、保護者の声を引き出しています。保護者からの相談にはゆっくり話ができるように個人面談を設定して職員2人で対応し、保護者が安心して子育て出来るように支援しています。

◆さらなる工夫が求められる点

・新しい生活様式に対応した保護者への発信方法を、さらに工夫していくことが期待されます

今年度は新型コロナウイルス感染症のため、運動会などの保護者参加行事が中止となっています。送迎もテラスで行っていて、保護者が園の中に入る機会もなくなっています。園としても日頃の写真をパワーポイントで見せたり、幼児の運動遊びを参観する機会を作るなどの検討を始めています。保護者が子どもの成長を確認し、園への理解を深めるためにも、新しい生活様式に対応した情報発信の方法や行事のあり方をさらに工夫していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回第三者評価を受けた事で、保育方針を再確認する事が出来ました。

保育内容については、職員間で自分とは違う視点で捉えている事について確認する事が出来ました。あらためて振り返りが出来、日々の保育で最善の方法を探りながら行ってきた事が、様々な場面に反映されていた事に気づく事も出来ました。

これからの取り組みとしましては、職員の意見の集約・反映方法等について出来る事から取り組んでいきたいと思ひます。

保護者の皆様には、安心して頂けるように、情報の発信を工夫し保育園での取り組みを今まで以上に、ご理解頂けるようにしていきたいと思ひます。

ペガサス夜間保育園

園長 栗田 奈美

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり